

子どもが育ちあうコミュニティをつくる

日時：2018年7月8日（日）13：20～15：20

場所：武庫川女子大学中央キャンパス マルチメディア館1階メディアホール

1. 主旨

発達障害や貧困など、さまざまな困難を抱える子どもたちを、どこで、誰が、どのように支えていけるかが問われており、喫緊の課題ともなっている。今回のシンポジウムでは、大阪市西成区の公立小学校の校長として、障害の有無にかかわらず子どもたちが共に学ぶ場をつくる実践を行ってこられた木村泰子氏と、子どもの居場所としてNPO法人「フリースペースたまりば」（1991年以降）、不登校生に対する公設民営「フリースペースえん」（2003年以降）を運営されている西野博之氏をシンポジストとして迎え、子どもが育ちあうコミュニティづくりの実践とその意義、課題についてお話しいたします。指定討論者の林美輝氏には、特にコミュニティづくりといった視点からコメントをいただき、それを基に参加者からの意見も頂戴し、議論を深めていきたい。

2. シンポジスト

シンポジスト：木村泰子（大阪市立大空小学校元校長）
西野博之（NPO法人フリースペースたまりば理事長）
指定討論者：林 美輝（龍谷大学文学部教授）
司 会：安東由則（武庫川女子大学文学部教授）

3. シンポジストの略歴

木村泰子（大阪市立大空小学校元校長）

武庫川学院女子短期大学（現武庫川女子大学短期大学部）卒業。初代校長を務められた大阪市立大空小学校の実践は、ドキュメンタリー映画「みんなの学校」（監督：真鍋俊永）で広く知られている。著書に『「みんなの学校」が教えてくれたこと——学び合いと育ち合いを見届けた3290日』（小学館、2015年）など。2015年に退職後は全国で講演をされている。

西野博之（NPO法人フリースペースたまりば理事長）

神奈川県川崎市の委託により「川崎市子ども夢パーク」内に、公設民営の不登校の子どもたちの居場所「フリースペースえん」を2003年に開設。文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」や「神奈川県学校・フリースクール等連携協議会」などの委員を歴任。著書に『居場所のちから——生きてるだけでいいんだ』（教育史料出版会、2006年）など。早稲田大学非常勤講師。

交通：阪神鳴尾駅下車

徒歩7分

